

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書①

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 岐阜県 】

1 実践テーマ	【 I・V 】
2 実施対象者	岐阜本巣特別支援学校小学部3・4年生（23名） 岐阜市立網代小学校3・4年生（18名） 岐阜本巣特別支援学校高等部1・2・3年生 体育1グループ（50名）
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ 保健体育：高等部 ） ② 行事名（ 学校間交流：小学部 ） ③ その他（ ） （2）地域における活動 ① イベント名（ オリパラ招聘事業 ） ② その他（ ）
4 目 標 （ねらい）	●学校間交流：小学部 ゴールボールを通して、一緒に遊んだり、体験したりすることで、網代小学校の友達と楽しく活動する。 ●保健体育：高等部 メダリストを招聘し、競技を体験することで、様々なスポーツに対する興味・関心を深め、スポーツを楽しむことができる。
5 取組内容	●ゴールボールの実技体験 ・日 時 平成30年10月1日（月）10：30～15：00 ・講 師 中島 茜 氏 ロンドンパラリンピック ゴールボール金メダリスト ・内 容 【午前の部】 10：45～11：30 「ゴールボールをやってみよう」 小学部3・4年生・網代小学校3・4年生 【午後の部】 13：20～14：45 「ゴールボール体験」 高等部1・2・3年生 体育1グループ
6 主な成果	【午前の部】 ・試合のルールまでの理解は難しかったが、「ボールを転がす」「ボールを受け止める」という2つのルールであったため、簡単な試合まで楽しむことができた。

- 転がすと音が鳴る、ボールの特性を理解し、音を頼りに身体全体で止めることができた。
- アイシェードを付けて、名前を呼ばれたら手をたたいてパスを受けることが、はじめは恐怖感もあり難しかったが、徐々に児童も慣れてきて興味を示し、頑張っている姿が見られた。
- 試合では、ゴールが決まったり、止めたりすると、児童全員で拍手や大きな歓声が上がっていた。
- 本物の金メダルに触れることができて、とても貴重な体験ができた。
- 保護者からも、「とても楽しそうですね。いい経験ですね。」といった感想を多くいただけた。



【午後の部】

- 初めは緊張感や恐怖感が見られたが、中島氏の分かり易い指導で徐々に緊張感もほぐれとても楽しい雰囲気で行うことができた。
- 生徒たちが、チームで工夫して投げ方や作戦を考えて試合をする姿が見られた。



	(生徒の感想) ・アイシェードを使用して、目が見えない方は普段はとても不自由な生活をしているんだなあ。 ・ボールを止める時には、めちゃくちゃ耳に集中しないと止めることができなかった。 ・東京パラリンピックで実際にゴールボールを見てみたい。 ・他の種目も体験してみたい。 ・金メダルに触れて、とてもいい経験ができた。 
7実践において工夫した点 (事業の特色)	・小学部の児童や高等部の生徒が、初めて聞いたり、体験したりする種目であったため、当日の体験が見通しをもって充実した活動ができるように事前にオリエンテーションを行った。
8主な課題等	・児童生徒にとって、とても貴重な体験であったため、もう少し時間に余裕をもたせたプランになるとよかった。
9来年度以降の実施予定	・機会があれば、同様の実技体験を行えるとよい。